

大口町の すごい人ご紹介！

大口町在住、在勤、または大口町出身で活躍している人、スゴイ人を紹介します！



日本伝統工芸師 蜻蛉玉職人
西村 久さん(下小口) 昭和17年生まれ

宣伝部 蜻蛉玉は日本の工芸品だと思っていました。魅力はどんなところですか？

西村さん 僕はたいていのことは10年で飽きてしまうんですが、蜻蛉玉はどれだけやっても満足できないんですよ。もっともつといいものを作りたい。奥が深いです。

宣伝部 なぜ大口町に？

西村さん もともと自分の親がここに住んでいまして、親が亡くなつて、自分が長男なのでここに住むことになりました。

宣伝部 これからの、やりたいことは何でしょうか。

西村さん 今、全国の神社で蜻蛉玉の奉納と、トロンボーンの奉納演奏をしていますので、これからも続けていきたいと思っています。

取材にて 西村さんの座右の銘は「謙虚・謙譲」「老騎千里を思ふ。」自分の内面と誠実に向き合いながら蜻蛉玉の作成と音楽の活動が続けていらつしやいます。

情報提供および問合せ先

大口町民活動センター

NPO 法人まちねっと大口

☎ Fax 22-6642

メール machinet@heart.

oon.ne.jp



▲ご自宅の工房



◀蜻蛉玉のルーツとされるお守り
(西村さん作)



▶中に花を咲かせた
蜻蛉玉

現在、西村さんは大口町下小口のご自宅で工房を設け、蜻蛉玉の制作をされています。「おおぐち宣伝部」のメンバーが、西村さんの工房で、お話を伺いました。

宣伝部 たくさんさんの経歴をお持ちだとお聞きしましたが…

西村さん 東京で生まれ、4歳から移り住んだ岐阜県神岡町でジャズバンドに出会い音楽をはじめました。19歳の時受けた国立音楽大学に合格し、卒業後はジャズのビッグバンド高橋達也と東京ユニオンへ入り7年、その後、ダン池田とニューブリードへ移り6年、「夜のヒットスタジオ」の専属バンドもやっていました。山口百恵さんの

デビュー当時も知っていますよ。
宣伝部 蜻蛉玉作りを始められたきっかけは？

西村さん バンドをやめて燃えつき症候群のようになりまして、友人の誘いでユーラシア大陸に2年半渡り、アフガニスタンで蜻蛉玉に出会ったんです。蜻蛉玉のルーツは魔除け。見た目がとんぼの眼玉に見えることから「蜻蛉玉」と呼ばれるんですよ。それが江戸時代、日本に入ってアクセサリとして広がりました。玉の中に花を咲かせる技術が伝統工芸として伝わっていったんです。
帰国後、蜻蛉玉の第一人者、飯降喜三郎さんに出会い、弟子入りさせてもらいました。